

報道発表資料
平成18年12月20日

平成18年度補正予算案の概要

気 象 庁

・ 本件に関する問い合わせ先
気象庁総務部経理管理官付
TEL : 03-3212-8341 (内線 2169)

平成18年度気象庁関係補正予算案

1. 予算総括表

(単位：百万円)

区 分	概 算 決定額	備 考
① 竜巻災害対策のための気象ドップラーレーダーの整備	1,146	釧路、函館、松江、福岡、種子島
② 精密地震観測室における地震監視機能の強化	425	
③ 原油高騰による船舶燃料費の増額	31	
④ 南鳥島気象観測所における台風災害の復旧	418	
⑤ 気象官署施設の耐震改修	602	
合 計	2,622	

(注) 端数処理のため計算が合わない場合がある。

2. 概 要

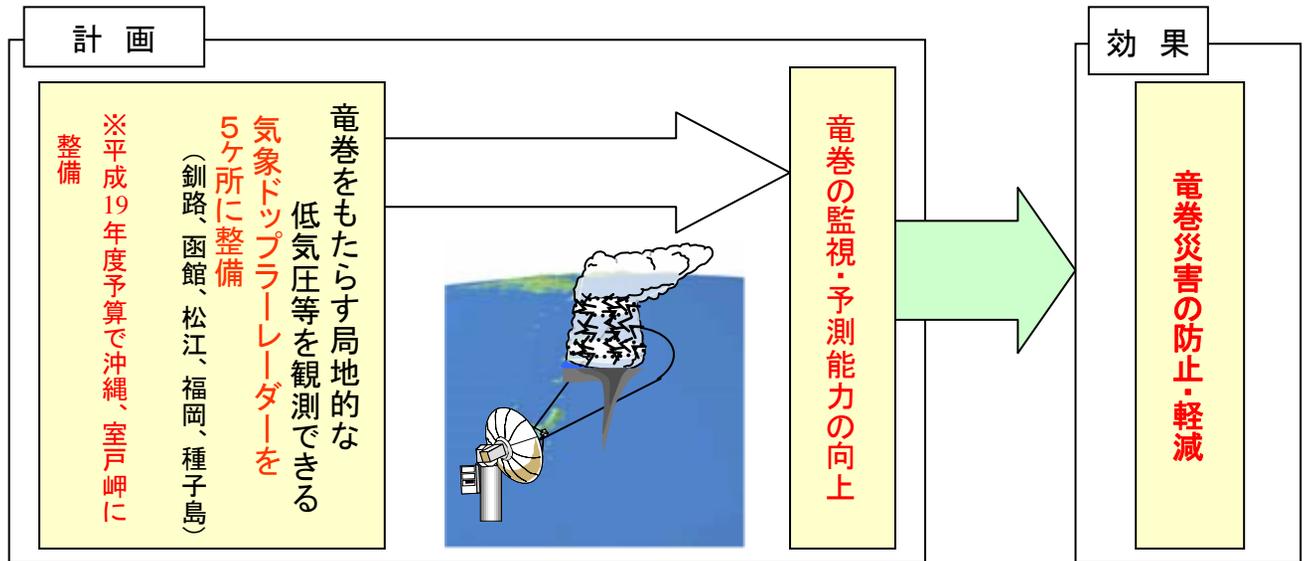
- 竜巻災害対策のための気象ドップラーレーダーの整備**……………P 2
(予算額 1,146百万円)
 - ・ 北海道佐呂間町や宮崎県延岡市の甚大な竜巻被害を受け、竜巻をもたらすメソ低気圧等を観測できるドップラーレーダーを整備し、竜巻の監視・予測能力を向上
- 精密地震観測室における地震監視機能の強化**……………P 3
(予算額 425百万円)
 - ・ 北朝鮮での地下核実験を踏まえ、精密地震観測室の地震観測機能を強化し、自然地震でない可能性のある震動波形の解析・判断に要する時間を短縮
- 原油高騰による船舶燃料費の増額**……………(予算額 31百万円)
 - ・ 原油価格の高騰による石油製品の値上がりに伴う不足を補うため
- 南鳥島気象観測所における台風災害の復旧**……………(予算額 418百万円)
 - ・ 台風による高潮・高波により被害を受けた南鳥島気象観測所の復旧
- 気象官署施設の耐震改修**……………(予算額 602百万円)
 - ・ 倒壊又は崩壊する危険性が高い耐震性能評価値が0.5未満の気象官署施設について緊急的に施行する耐震改修

3. 説明資料

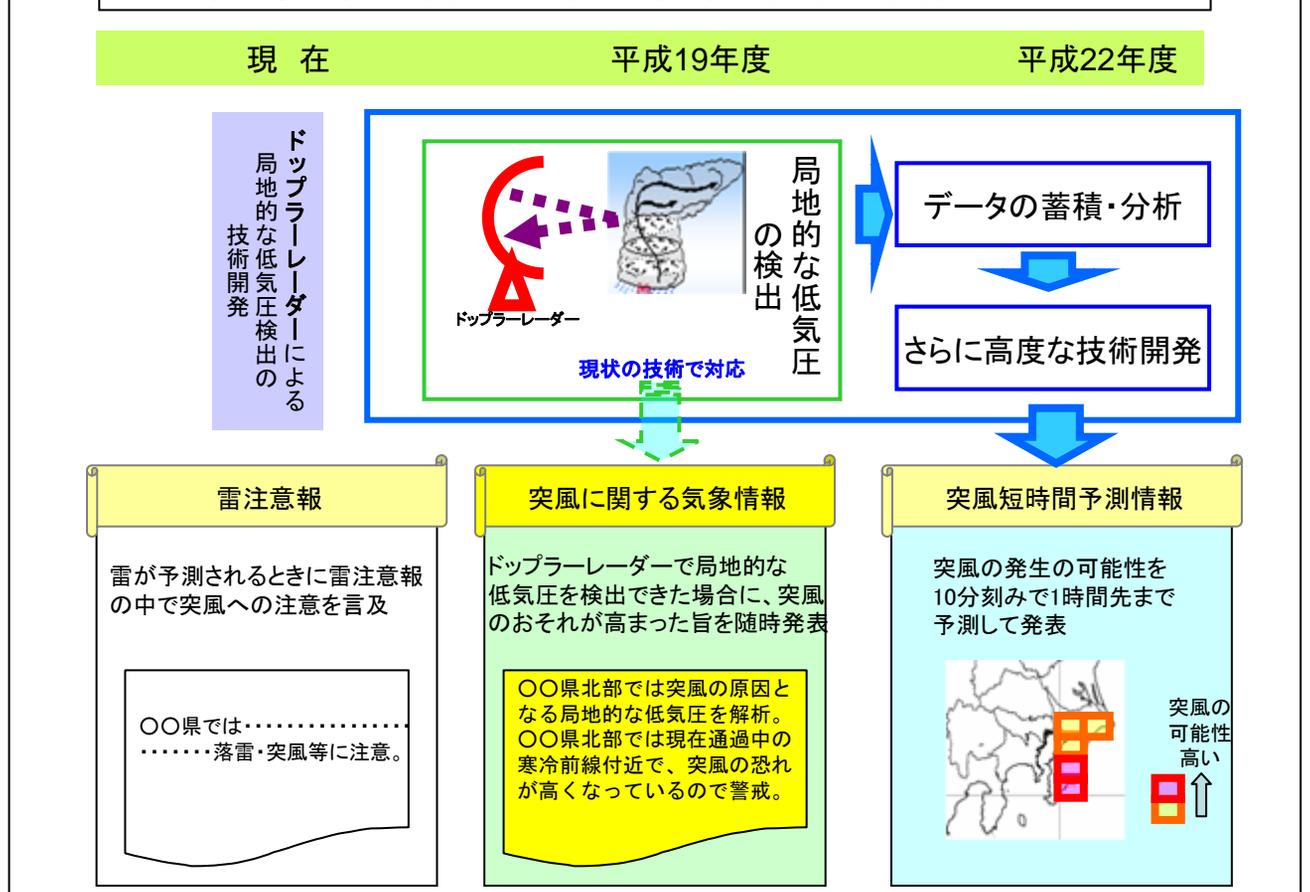
① 竜巻災害対策のための気象ドップラーレーダーの整備

予算額: 1,146百万円

北海道佐呂間町や宮崎県延岡市の甚大な竜巻災害を受け、竜巻をもたらす局地的な低気圧等を観測できる気象ドップラーレーダーを整備し、竜巻の監視・予測能力を向上



気象庁における突風に関する気象情報の改善のイメージ



② 精密地震観測室における地震監視機能の強化

予算額:425百万円

精密地震観測室の地震監視機能を強化し、自然地震でない可能性のある震動波形の解析・判断に要する時間を短縮。

